

桂小

強い絆 これからも大切に



これがイチオシ

あいさつを広げる活動

桂小学校では児童会スローガンに「あいさつ」を掲げ、全校で仲良く笑顔になるよう活動しています。昨年始めた「あいさつし隊」活動は毎週木曜の登校時、隊の児童がオリジナルキャラ「かつらっきー」のバッジを付けて自主的にあいさつを呼びかけます。「学校が明るくなった」という反響があり、大きなやりがいを感じます。計画委員会の呼びかけで、全校で「気持ちの良いあいさつ」も考えました。今後も地域の人にあいさつが広がるよう呼びかけ、活動を続けていきます。

学校名 仙台市立桂小学校
所在地 仙台市泉区桂3の1の1
創立 1995年
電話 022(375)2357
校長 白鳥 雅之
児童数 205人

多くの地域住民と交流

桂小学校の最大の魅力は、地域との深い関わりです。昨年は開校30年の節目を迎え、「感謝」をテーマに全児童で感謝状を制作し、地域の人たちに贈りました。全児童が地域に支えられています。1年生の昔遊びやサツマイモ苗植え、2年生の町探検、3、4年生の習字の他、全学年の水泳授業や毎日の登下校など多くの人に見守られています。総合的な学習の時間も地域が舞台。3年生は福祉をテーマに地域の人の思いを聞き、優しい町づくりを考えています。4年生はさらに良い地域にするため、自分たちができる活動を地域の団体に提案し、公園清掃や桜への追肥などを実践。「満開できれいだった」と言われた時の喜びは私たちの宝物です。5年生は避難所運営を学ぶ防災学習や、桂米の田植えから脱穀まで一緒に活動してもらいました。運動会前の校庭の草刈りなど地域の人がいなくては学校は成り立ちません。これからも地域との強い絆を大切にしていきたいです。



編集委員 船山浩平、栢澤希唯、山崎桜祐、長田悠佑、亀谷雪乃、佐藤舞、奈須野夏身(6年)川畑颯吾、堀江重登、三塚英介、加藤雄、菊地桐史、山下昌太郎(5年)指導教員 高橋玲奈、玉川育実

わが校わがまち スクール通信



今回は
金成小中(栗原市)
成田小(富谷市)

地域の生き物や歴史学ぶ

宮床小

難波で林間教室と探検

宮床小学校は、七ツ森の麓にある自然豊かな学校です。かつて分校があった難波地区には、今も多く自然が残っています。毎年8月には「難波林間教室」として、全児童で「蛇石せせらぎ公園」に向かい、園内の川に入って遊びます。川には魚や水生昆虫がいて、網ですくって観察します。イワナやアユがいます。が、なかなか網の中に入ろうとはしません。川のせせらぎを聞きながら暑い日に入ると、とても冷たくて気持ちいいです。



編集委員 菊地こゆき(6年)五十嵐海斗、佐藤有麒翔(5年)相川湊祐(4年)指導教諭 千葉秀一、齋藤康貴

これがイチオシ

児童全員で大縄楽しむ

宮床小学校の企画委員会では、児童全員が楽しめるような行事を話し合っています。

その一つが「大縄大会」です。班ごとに3分間で何回跳べるのかを競い合います。

最初はうまく跳べない児童がいても、班の仲間で協力したり、助け合ったりする中で、うまく跳べるようになります。練習を重ねていくことで、どんどん記録も伸びていきます。

これからも宮床小の児童全員が楽しめる行事として続けていきたいです。

学校名 大和町立宮床小学校
所在地 大和町宮床四辻85の6
創立 1873年
電話 022(346)2005
校長 佐藤 千寿
児童数 53人



仙台七夕まつりが開幕した6日、東日本大震災からの復興を願い、仙台市内の児童生徒らが制作した折り鶴7万8000羽の大きなつし飾りが、青葉区一番町3丁目の藤崎本館前に登場し、市民や観光客を魅了した。復興折り鶴は、今年で16年目を迎えた仙台市教委の「故郷復興プロジェクト」の一環。小中学校、特別支援学校など184校の児童生徒や地域住民らが制作に携わった。太白区八木山小5年の田村咲さん(10)は「友達と教え合いながら丁寧に鶴を折った。飾りを多くの人に見てもらうことができうれしい」と話した。(8月7日朝刊より)

復興折り鶴七夕彩る

仙台的な中学生7万8000羽制作



仙台七夕まつりが開幕した6日、東日本大震災からの復興を願い、仙台市内の児童生徒らが制作した折り鶴7万8000羽の大きなつし飾りが、青葉区一番町3丁目の藤崎本館前に登場し、市民や観光客を魅了した。

復興折り鶴は、今年で16年目を迎えた仙台市教委の「故郷復興プロジェクト」の一環。小中学校、特別支援学校など184校の児童生徒や地域住民らが制作に携わった。

うみへいった
タマネギちゃん
ピーマンちゃん

屋田弥子 作、姫田真武 絵
佼成出版社



飛ばされた友達探す冒険

タマネギちゃん和ピーマンちゃんは、仲のいい友達です。きょうは2人で海に行く約束をしています。ところが、時間になってもピーマンちゃんはぐっすり眠ったまま。

タマネギちゃんは困ってしまいましたが、いいことを思いつきました。それは、ピーマンちゃんのおなかを押し、空気を抜くこと。ベッタンコになったピーマンちゃんを膨らむ前の浮輪のように丸め、海へ連れて行ったのです。

でも、ピーマンちゃんはまだ

ベッタンコのまま。元に戻すために、タマネギちゃんが空気をどんどん入れると、ピーマンちゃんは今にもは切れそうなほど真ん丸に膨れあがり…。

風に飛ばされ、見えなくなってしまったピーマンちゃんを探すタマネギちゃん。果たして、2人は無事に会うことができるのでしょうか。

身近な野菜たちの冒険が、やさしい文章と親しみのある絵で描かれたお話です。小学校低学年から。(仙台市榴岡図書館 千葉美咲)